



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月12日

上場会社名 中日本鑄工株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6439 URL http://www.nakachuko.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鳥居良彦
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部参与 (氏名)加藤俊哉 (TEL) 0563-55-4477
 定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績(2022年4月1日~2023年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	5,367	2.4	△56	-	45	-	△483	-
2022年3月期	5,243	30.2	△200	-	△12	-	193	-

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△213.67	-	△15.3	0.6	△1.1
2022年3月期	84.94	-	5.2	△0.1	△3.8

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 -百万円 2022年3月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	8,317	3,154	37.9	1,397.28
2022年3月期	8,877	3,702	41.7	1,630.92

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,154百万円 2022年3月期 3,702百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	258	103	△0.1	1,277
2022年3月期	196	△51	△222	916

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	-	0.00	-	15.00	15.00	34	17.7	0.9
2023年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	0.00	-	-	-	-	-	-

(注)現時点において2024年3月期配当予想額は未定です。

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	9.2	△60	-	△50	-	△40	-	-
通期	5,800	8.1	40	△29.4	50	9.4	50	-	22.15

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	2,306,300 株	2022年3月期	2,306,300 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	48,507 株	2022年3月期	35,948 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	2,261,189 株	2022年3月期	2,282,301 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の状況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	13
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14
4. その他	15
役員の異動	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響により景気の停滞感を引きずる状況の中、世界的なウィズコロナへの移行拡大により状況が徐々に緩和されつつあり、日本国内の景気が持ち直して行くことが期待される状況となっております。一方海外では、ウクライナ情勢による原材料価格やエネルギー価格の上昇、米国をはじめとする世界各国の経済金融政策や為替の動向等による様々な影響を引き続き注視する必要がある状況であります。

鑄造業界をとりまく経営環境は、産業機械関連向け需要及び自動車向け需要ともに横ばいの基調で推移しました。主原料である鉄スクラップ市況は、高止まり傾向を続けており、とりわけ銑鉄におきましては、資源価格高騰に伴い年平均で昨年比約50%高騰したまま推移しました。また、鑄物副資材価格、電力等のエネルギー価格、に加えて輸送費等も高騰を続けており、極めて厳しい状況にあります。

このような状況下、営業活動におきましては、積極的な提案営業活動により上記経費増加分の単価改訂に注力してまいりました。生産活動におきましては、生産効率向上及び品質向上に向けての改善活動を展開して収益改善に努めました。それらの結果、当社の売上高は、5,367百万円と前年度に比べ124百万円、率にして2.4%の増加となりました。利益面につきましては、原材料価格、鑄物副資材価格、エネルギー価格等の製造コストアップにより厳しい状況で推移しましたが、営業外収入である売電収入等により45百万円（前事業年度は12百万円の経常損失）の経常利益となりました。また、減損損失等の特別損失を計上したことから483百万円の（前事業年度は193百万円の当期純利益）の当期純損失となりました。

①鑄物事業

売上高は、産業機械関連向けの部品をはじめとして全ての部品が大きく増加することにより5,233百万円と前年同期と比べ91百万円（1.8%）の増収となりました。利益面につきましては、生産性向上及び製造諸経費の削減など、収益改善に努めましたが、営業損失は、118百万円（前事業年度は245百万円の営業損失）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は134百万円と前事業年度と比べ32百万円（31.7%）の増収となりました。営業利益は、61百万円（対前事業年度比37.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は前事業年度末と比較し、355百万円増加の3,503百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加361百万円、電子記録債権の増加49百万円、仕掛品の減少19百万円によるものであります。

当事業年度末における固定資産は前事業年度末と比較し、915百万円減少の4,814百万円となりました。これは、主に建物の減少569百万円、機械及び装置の減少117百万円、土地の減少105百万円、建設仮勘定の減少80百万円によるものであります。

この結果、当事業年度末における総資産は8317百万円となり、前事業年度末と比較し560百万円減少いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は前事業年度末と比較し、225百万円減少の1,865百万円となりました。これは、主に支払手形の減少88百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少110百万円によるものであります。

また、固定負債は前事業年度末と比較し、212百万円増加の3,297百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加123百万円、長期リース債務の増加91百万円によるものであります。

この結果、当事業年度末における負債合計は5,162百万円となり、前事業年度末と比較し12百万円減少いたしました。

(純資産)

当事業年度末における純資産は前事業年度末と比較し、547百万円減少の3,154百万円となりました。これは、有価証券評価差額金の減少23百万円、利益剰余金の減少517百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、258百万円（前年同期は196百万円の収入）の収入となりました。主な内訳は税引前当期純損失478百万円、減損損失585百万円、減価償却費295百万円、仕入債務の減少額119百万円等を計上したためであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、103百万円（前年同期は51百万円の支出）の収入となりました。これは有形固定資産の取得による支出189百万円、有形固定資産の売却による収入220百万円、投資有価証券の取得による支出727百万円、投資有価証券の売却による収入826百万円が主なものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、0百万円（前年同期は222百万円の支出）の支出となりました。これは長期借入れによる収入1,162百万円、長期借入金の返済による支出1,149百万円及び配当金の支払額33百万円が主なものであります。

以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、1,277百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期
自己資本比率 (%)	45.2	46.3	41.0	41.7	37.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	17.4	15.0	13.4	13.0	13.03
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	237.3	4.6	16.0	18.8	6.98
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	1.4	72.4	17.9	12.5	11.32

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 上記表はいずれも財政数値により、下記の基準で算出しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの感染拡大がワクチン接種率の増加により徐々に収束に向かうとの見方から、国内経済の回復が期待されております。一方で、新型コロナウイルス変異株に伴う感染再拡大やロシアによるウクライナ侵攻、感染症拡大やサプライチェーンの停滞による半導体等の供給部品制約、資源価格の高騰など、景気の先行きについては慎重な見方が必要な状況が続くと予想されます。鑄造業界の需要動向についても回復はあっても緩やかなもので、原油価格・原材料価格・副資材価格・エネルギー価格などの購入品価格や物流費の上昇等による製造コストのアップが予想され、収益の確保・拡大には、より一層の企業努力が求められると予想されます。

こうした見通しのもと、当社は営業活動の強化、製造活動の生産工程全般の改善活動による生産性向上と品質向上に全力を傾注することにより、次年度の業績予想は、売上高は5,800百万円、経常利益は50百万円、当期純利益は50百万円を予想しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は、現在、日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、外国人持株比率の推移及び国内他社の I F R S（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、I F R S 適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	916,157	1,277,536
受取手形	49,781	38,069
電子記録債権	892,326	941,682
売掛金	848,116	820,708
商品及び製品	65,833	87,896
仕掛品	242,965	223,760
原材料及び貯蔵品	74,582	73,603
前払費用	11,455	11,473
その他	46,883	28,679
貸倒引当金	△200	-
流動資産合計	3,147,901	3,503,409
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,445,385	875,839
構築物（純額）	45,143	41,011
機械及び装置（純額）	552,027	434,846
車両運搬具（純額）	1,152	1,673
工具、器具及び備品（純額）	26,100	10,999
土地	2,092,034	1,986,917
リース資産（純額）	-	97,813
建設仮勘定	105,570	24,758
有形固定資産合計	4,267,415	3,473,859
無形固定資産		
ソフトウェア	3,892	21,876
ソフトウェア仮勘定	41,152	1,544
その他	0	-
無形固定資産合計	45,044	23,421
投資その他の資産		
投資有価証券	964,650	872,891
出資金	3,180	23,180
長期前払費用	1,744	139
保険積立金	34,639	39,260
前払年金費用	219,853	210,300
売電資産	193,246	170,949
その他	0	0
投資その他の資産合計	1,417,314	1,316,721
固定資産合計	5,729,774	4,814,002
資産合計	8,877,675	8,317,412

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	549,732	460,747
買掛金	335,483	305,738
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	760,985	650,810
リース債務	-	16,912
未払金	76,036	98,514
未払費用	93,279	59,155
未払法人税等	2,727	5,132
未払消費税等	73,312	63,179
預り金	12,194	17,482
前受収益	4,986	4,440
賞与引当金	62,054	73,024
設備関係支払手形	19,836	10,480
流動負債合計	2,090,626	1,865,616
固定負債		
長期借入金	2,827,771	2,950,809
長期リース債務	-	91,400
繰延税金負債	99,530	83,956
役員退職慰労引当金	127,640	108,285
資産除去債務	18,029	18,029
その他	11,324	44,541
固定負債合計	3,084,295	3,297,022
負債合計	5,174,922	5,162,639
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金		
資本準備金	1,065,799	1,065,799
その他資本剰余金	1,507,060	1,507,060
資本剰余金合計	2,572,860	2,572,860
利益剰余金		
利益準備金	67,700	67,700
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,007,634	490,421
利益剰余金合計	1,075,335	558,122
自己株式	△23,823	△30,902
株主資本合計	3,654,372	3,130,079
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,380	24,693
評価・換算差額等合計	48,380	24,693
純資産合計	3,702,753	3,154,773
負債純資産合計	8,877,675	8,317,412

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月 31日)	当事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月 31日)
売上高		
商品及び製品売上高	5,141,250	5,233,079
不動産賃貸収入	102,203	134,644
売上高合計	5,243,453	5,367,723
売上原価		
商品期首棚卸高	21,890	15,511
製品期首棚卸高	45,964	50,321
当期商品仕入高	71,007	53,042
当期製品製造原価	4,717,867	4,736,849
合計	4,856,730	4,855,723
商品期末棚卸高	15,511	21,266
製品期末棚卸高	50,321	66,630
差引	4,790,896	4,767,827
不動産賃貸原価	57,081	72,820
売上原価合計	4,847,978	4,840,647
売上総利益	395,475	527,076
販売費及び一般管理費		
荷造及び発送費	203,006	195,147
役員報酬	52,413	50,996
給料及び手当	90,397	113,587
賞与引当金繰入額	17,635	19,830
退職給付費用	3,275	4,782
役員退職慰労引当金繰入額	10,251	7,945
福利厚生費	27,640	33,860
減価償却費	7,625	14,290
租税公課	5,119	6,867
支払手数料	118,737	72,179
その他	59,688	64,276
販売費及び一般管理費合計	595,790	583,765
営業損失(△)	△200,314	△56,689
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	33,520	28,096
固定資産賃貸料	32,604	-
助成金収入	71,832	-
売電収入	86,724	90,168
雑収入	28,217	37,469
営業外収益合計	252,910	155,744
営業外費用		
支払利息	15,674	22,834
債権売却損	1,393	396
固定資産賃貸費用	16,520	-
売電原価	31,228	27,775
雑支出	580	2,340
営業外費用合計	65,398	53,346
経常利益又は経常損失(△)	△12,802	45,708

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	3,762
投資有価証券売却益	286,934	80,580
特別利益合計	286,934	84,343
特別損失		
固定資産処分損	14,621	6,930
減損損失	-	585,613
投資有価証券売却損	48,079	14,400
投資有価証券評価損	-	1,935
特別損失合計	62,700	608,879
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	211,431	△478,827
法人税、住民税及び事業税	3,107	7,756
法人税等調整額	14,474	△3,426
法人税等合計	17,582	4,329
当期純利益又は当期純損失 (△)	193,849	△483,157

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021 年 4 月 1 日 至 2022 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	1,537,060	1,065,799	-	1,065,799	67,700	836,648	904,349
当期変動額							
剰余金の配当						△22,863	△22,863
減資	△1,507,060	-	1,507,060	1,507,060			
当期純利益						193,849	193,849
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	△1,507,060	-	1,507,060	1,507,060	-	170,985	170,985
当期末残高	30,000	1,065,799	1,507,060	2,572,860	67,700	1,007,634	1,075,335

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△15,287	3,491,921	226,639	226,639	3,718,561
当期変動額					
剰余金の配当		△22,863			△22,863
減資		-			-
当期純利益		193,849			193,849
自己株式の取得	△8,535	△8,535			△8,535
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)			△178,258	△178,258	△178,258
当期変動額合計	△8,535	162,450	△178,258	△178,258	△15,808
当期末残高	△23,823	3,654,372	48,380	48,380	3,702,753

当事業年度(自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	30,000	1,065,799	1,507,060	2,572,860	67,700	1,007,634	1,075,335
当期変動額							
剰余金の配当						△34,055	△34,055
減資							
当期純利益						△483,157	△483,157
自己株式の取得							
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）							
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△517,212	△517,212
当期末残高	30,000	1,065,799	1,507,060	2,572,860	67,700	490,421	558,122

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△23,823	3,654,372	48,380	48,380	3,702,753
当期変動額					
剰余金の配当		△34,055			△34,055
減資					
当期純利益		△483,157			△483,157
自己株式の取得	△7,079	△7,079			△7,079
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）			△23,687	△23,687	△23,687
当期変動額合計	△7,079	△524,292	△23,687	△23,687	△547,979
当期末残高	△30,902	3,130,079	24,693	24,693	3,154,773

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日)	当事業年度 (自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	211,431	△478,827
減価償却費	311,381	295,205
減損損失	-	585,613
投資有価証券売却損益 (△は益)	△238,855	△66,180
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	1,935
固定資産処分損益 (△は益)	14,621	6,930
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,069	10,970
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,251	△19,354
受取利息及び受取配当金	△33,531	△28,106
支払利息	15,674	22,834
売上債権の増減額 (△は増加)	△202,625	△10,236
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,187	△1,877
仕入債務の増減額 (△は減少)	52,375	△119,670
未払金の増減額 (△は減少)	△57,358	18,336
長期未払金の増減額 (△は減少)	-	32,653
未払費用の増減額 (△は減少)	5,285	△34,123
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△20,128	9,552
未払消費税等の増減額 (△は減少)	64,952	△10,133
未収消費税等の増減額 (△は増加)	91,549	-
その他	△1,463	34,499
小計	166,443	250,018
利息及び配当金の受取額	33,531	28,106
利息の支払額	△14,880	△22,894
法人税等の還付額	11,476	3,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	196,570	258,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△500,474	△189,271
有形固定資産の売却による収入	-	220,927
投資有価証券の取得による支出	△787,751	△727,856
投資有価証券の売却による収入	1,382,901	826,678
無形固定資産の取得による支出	△23,068	△2,374
保険積立金の積立による支出	△10,871	△5,048
預り保証金の受入による収入	1,175	-
投資不動産の取得による支出	△113,713	-
出資金の払込による支出	-	△20,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△51,802	103,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	800,000	1,162,294
長期借入金の返済による支出	△990,850	△1,149,431
セール・アンド・リースバックによる収入	-	34,845
リース債務の返済による支出	-	△7,510
配当金の支払額	△22,863	△33,268
自己株式の取得による支出	△8,535	△7,079
財務活動によるキャッシュ・フロー	△222,249	△149
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△77,481	361,379
現金及び現金同等物の期首残高	993,639	916,157
現金及び現金同等物の期末残高	916,157	1,277,536

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	鋳物事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,141,250	102,203	5,243,453	5,243,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,141,250	102,203	5,243,453	5,243,453
セグメント利益又は損失 (△)	△245,436	45,122	△200,314	△200,314

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

定款変更に伴い、報告セグメントを従来の「鋳物事業」に「不動産賃貸事業」を加えて2区分に変更いたしました。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当事業年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	鋳物事業	不動産賃貸事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	5,233,079	134,644	5,367,723	5,367,723
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	5,233,079	134,644	5,367,723	5,367,723
セグメント利益又は損失 (△)	△118,512	61,823	△56,689	△56,689

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

鋳物事業において、585,613百万円の減損損失を計上しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,630円92銭	1,397円28銭
1株当たり当期純利益	84円94銭	△213円67銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(千円)	193,849	△483,157
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	193,849	△483,157
普通株式の期中平均株式数(株)	2,282,301	2,261,188

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2022年3月31日)	当事業年度末 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	3,702,753	3,154,773
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	3,702,753	3,154,773
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	2,270,352	2,257,793

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

役員の変動

(1) 代表取締役の変動

代表取締役会長の鳥居祥雄は、代表取締役を退任いたします。

(2) その他役員の変動

・新任予定取締役

取締役 時田 学

・新任予定監査等委員である取締役

取締役 齋藤 勝廣

取締役 都築 勝久

取締役 岡田 雅彦

・退任予定監査役

常勤監査役 早川 潔

(3) 就任予定日

2023年6月29日